

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第121期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	サカイオーベックス株式会社
【英訳名】	SAKAI OVEX CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松木 伸太郎
【本店の所在の場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【最寄りの連絡場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第120期 第3四半期連結 累計期間	第121期 第3四半期連結 累計期間	第120期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	15,890,590	16,406,134	20,665,326
経常利益(千円)	1,473,039	1,550,976	1,641,426
四半期(当期)純利益(千円)	746,619	1,132,412	1,006,984
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	803,830	1,805,770	1,459,049
純資産額(千円)	9,609,383	11,940,062	10,264,499
総資産額(千円)	20,028,595	22,293,721	20,312,098
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	11.57	17.55	15.60
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47.8	53.4	50.4

回次	第120期 第3四半期連結 会計期間	第121期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.09	6.74

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年12月24日開催の取締役会において、イタバシニット株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議し、同日、株式譲渡契約を締結しました。

詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおりです。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融、経済対策による株高、円安の進行により、輸出産業を中心に企業業績に改善が見うけられ、景気は回復基調で推移しました。しかしながら、欧州経済の低迷や中国経済の成長鈍化、消費税増税の影響等も懸念されることから、景気の先行きは、依然予断を許さない状況となっています。

このような経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、繊維販売事業、その他の事業は増収となったものの、主力の染色加工事業が減収となったことと併せて、原材料及びエネルギー費の増加により営業利益は減益となりました。一方、経常利益は持分法投資利益の増加、四半期純利益は税金費用の減少により、いずれも増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は16,406百万円と前年同期比515百万円（3.2%）の増収となり、営業利益は1,100百万円と前年同期比の97百万円（8.2%）の減益、経常利益は1,550百万円と前年同期比77百万円（5.3%）の増益、四半期純利益は、1,132百万円と前年同期比385百万円（51.7%）の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### （染色加工事業）

当事業では、婦人衣料、車両内装材用途は堅調であったものの、主力のユニフォーム用途、スポーツ用途が減少し減収となりました。利益面では、生産ロス、製造原価の低減に努めましたが、原材料、エネルギー費の急激な上昇を吸収できず減益となりました。

当事業の売上高は、8,947百万円と前年同期比162百万円（1.8%）の減収となり、営業利益は415百万円と前年同期比148百万円（26.3%）の減益となりました。

#### （繊維販売事業）

当事業では、テキスタイルは、主力のユニフォーム用途の新規拡販に注力するとともに、アパレルは、製造コストの上昇はあったものの、既存OEM事業での顧客開拓や、販売チャネルの多様化に積極的に取り組みました。また、酒伊貿易(上海)有限公司は、アパレルとの連携を強化し、中国国内での縫製品販売強化に向けた体制の構築に取り組みました。

当事業の売上高は、4,977百万円と前年同期比590百万円（13.5%）の増収となり、営業利益は502百万円と前年同期比29百万円（6.2%）の増益となりました。

#### （その他の事業）

その他の事業のうち、電子機器事業は、FA制御関連、自動制御装置関連とも堅調に推移いたしました。織布事業は、需給環境に改善が見受けられ、回復基調となりました。建設不動産事業は、リフォーム、小口物件など着実に利益が確保できる案件の成約に努めました。複合部材事業は、当社独自商品の優位性を軸に、用途展開が期待できる市場への販売活動に注力しました。水産資材事業は、中層浮魚礁等を中心に低調な結果となりました。

その他事業の売上高は、2,480百万円と前年同期比87百万円（3.7%）の増収となり、営業利益は135百万円と前年同期比4百万円（3.4%）の減益となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、530百万円です。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	224,000,000
計	224,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,362,587	68,362,587	(株)東京証券取引所 (第一部)	単元株式数 1,000株
計	68,362,587	68,362,587	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	68,362	-	4,655,044	-	1,536,986

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、

記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

## 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 3,830,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 64,363,000	64,363	-
単元未満株式	普通株式 169,587	-	1単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	68,362,587	-	-
総株主の議決権	-	64,363	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれています。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれています。

## 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
サカイオーベックス株式会社	福井市花堂中二丁目15番1号	3,830,000	-	3,830,000	5.60
計	-	3,830,000	-	3,830,000	5.60

（注）1．上記の他、株主名簿上は当社名義となっていますが、実質的に所有していない株式が2,000株（議決権の数2個）あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」の欄に含まれています。

2．当第3四半期会計期間末の自己株式数は3,836千株です。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,617,922	1,604,864
受取手形及び売掛金	3,647,375	4,347,617
有価証券	999	-
商品及び製品	739,766	961,497
仕掛品	383,387	550,434
原材料及び貯蔵品	253,282	254,479
その他	1,384,634	1,476,188
貸倒引当金	31,172	37,212
流動資産合計	7,996,196	9,157,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,038,173	2,952,099
機械装置及び運搬具(純額)	1,409,873	1,200,506
土地	2,653,076	2,653,485
リース資産(純額)	99,073	79,524
建設仮勘定	15,000	-
その他(純額)	52,967	45,078
有形固定資産合計	7,268,165	6,930,694
無形固定資産		
その他	60,380	68,405
無形固定資産合計	60,380	68,405
投資その他の資産		
出資金	2,754,928	3,645,698
その他	2,233,757	2,492,381
貸倒引当金	1,330	1,326
投資その他の資産合計	4,987,356	6,136,753
固定資産合計	12,315,902	13,135,853
資産合計	20,312,098	22,293,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,786,045	3,293,512
短期借入金	1,873,220	1,877,967
未払法人税等	254,258	171,366
賞与引当金	443,512	234,742
その他の引当金	7,100	-
その他	649,729	790,096
流動負債合計	6,013,865	6,367,684
固定負債		
長期借入金	2,833,473	2,675,555
退職給付引当金	630,691	692,425
資産除去債務	104,863	105,831
その他	464,706	512,162
固定負債合計	4,033,734	3,985,974
負債合計	10,047,599	10,353,659
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	4,020,835	5,024,182
自己株式	796,879	798,021
株主資本合計	9,916,363	10,918,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,717	460,776
繰延ヘッジ損益	5,502	18,322
為替換算調整勘定	45,882	503,828
その他の包括利益累計額合計	312,101	982,928
少数株主持分	36,034	38,565
純資産合計	10,264,499	11,940,062
負債純資産合計	20,312,098	22,293,721

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	15,890,590	16,406,134
売上原価	13,126,336	13,859,156
売上総利益	2,764,254	2,546,977
販売費及び一般管理費	1,565,390	1,446,074
営業利益	1,198,864	1,100,903
営業外収益		
受取利息	1,530	1,768
受取配当金	32,731	39,114
持分法による投資利益	255,370	438,635
その他	64,161	38,460
営業外収益合計	353,793	517,978
営業外費用		
支払利息	67,413	58,203
その他	12,204	9,701
営業外費用合計	79,617	67,904
経常利益	1,473,039	1,550,976
特別利益		
固定資産売却益	4,416	270
投資有価証券売却益	-	700
助成金収入	13,949	22,502
保険差益	-	13,365
特別利益合計	18,366	36,839
特別損失		
固定資産売却損	-	331
固定資産除却損	3,485	1,634
固定資産圧縮損	-	10,266
投資有価証券評価損	215,677	-
特別損失合計	219,162	12,231
税金等調整前四半期純利益	1,272,243	1,575,584
法人税、住民税及び事業税	428,204	348,534
法人税等調整額	97,498	92,145
法人税等合計	525,702	440,679
少数株主損益調整前四半期純利益	746,540	1,134,904
少数株主利益又は少数株主損失( )	79	2,491
四半期純利益	746,619	1,132,412

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	746,540	1,134,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,209	200,098
繰延ヘッジ損益	7,767	12,820
為替換算調整勘定	632	5,811
持分法適用会社に対する持分相当額	24,054	452,135
その他の包括利益合計	57,289	670,866
四半期包括利益	803,830	1,805,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	803,912	1,803,239
少数株主に係る四半期包括利益	82	2,531

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	60,063千円	50,522千円
支払手形	74,228	86,091

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る減価償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	533,686千円	486,171千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	129,073	2	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	129,066	2	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算 書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,110,420	4,387,370	13,497,790	2,392,799	15,890,590	-	15,890,590
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	20,864	23,391	44,255	340,509	384,764	384,764	-
計	9,131,284	4,410,761	13,542,046	2,733,309	16,275,355	384,764	15,890,590
セグメント利益	564,366	473,160	1,037,526	140,352	1,177,879	20,984	1,198,864

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額20,984千円は、セグメント間取引消去10,726千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10,258千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算 書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,947,700	4,977,763	13,925,464	2,480,670	16,406,134	-	16,406,134
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	23,937	12,455	36,393	452,493	488,886	488,886	-
計	8,971,638	4,990,218	13,961,857	2,933,163	16,895,021	488,886	16,406,134
セグメント利益	415,661	502,525	918,187	135,602	1,053,790	47,112	1,100,903

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額47,112千円は、セグメント間取引消去5,424千円、各報告セグメントに配分していない全社費用41,688千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	11円57銭	17円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	746,619	1,132,412
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	746,619	1,132,412
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,535	64,532

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。



## (重要な後発事象)

## 株式取得による会社等の買収

当社は、平成25年12月24日開催の取締役会において、以下のとおり、イタバシニット株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議し、同日、株式譲渡契約を締結しました。当該契約に基づき、平成26年1月14日に同社の全株式を取得し、子会社化しました。なお、対象会社の子会社化に伴い、イタバシニット株式会社の100%子会社である上海板橋時装有限公司も当社の子会社になります。

## 1. 株式取得の目的

当社グループは、コア事業である染色加工事業部門を中心として、織、染色からテキスタイル、アパレルに至る繊維関連の垂直一貫体制を軸とする経営を強みに事業を展開しています。このような状況の中、繊維関連事業をより一層強化し、厳しい経営環境に対応するためには、グループ内に未だ機能を有していない縫製事業（イタバシニット株式会社）を、新たに取り込む事が必要不可欠であると判断しました。これにより、商品バリエーションの多様化、顧客満足度の高い商材の提供、短納期対応などが行え、当社グループ独自のサプライチェーンを構築することが可能となります。新規に縫製事業の独自展開を図ることと併せ、既存の繊維販売事業の補完、及びグループ全体の商流へのビジネスシナジーの創出を目指してまいります。

## 2. 株式取得の相手方の名称

吉田 秀 氏

## 3. 株式取得会社の概要

## (1) 直接所有する取得対象会社（平成25年1月期）

1 商号	イタバシニット株式会社
2 本店所在地	東京都板橋区板橋3-35-1
3 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉田 康宏
4 事業内容	ニット加工、製造、卸売業
5 資本金	48百万円
6 純資産	830百万円
7 総資産	1,626百万円
8 売上高	1,637百万円

## (2) 間接所有する子会社（平成24年12月期）

1 商号	上海板橋時装有限公司
2 本店所在地	上海市青浦区工業園區重固發展区松華路1298号
3 代表者の役職・氏名	董事長 吉田 康宏
4 事業内容	ニット加工、製造、卸売業
5 資本金	RMB12,415,650
6 純資産	172百万円
7 総資産	228百万円
8 売上高	336百万円

(注) 円貨額は、平成24年12月期の為替レート 1 RMB = 13.91円で換算しています。

## 4. 株式取得の時期

平成26年1月14日

5. 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

1 取得株式数	92,300株
2 取得価額	806百万円
3 取得後の持分比率	100%

6. 取得資金の調達方法

自己資金及び金融機関からの借入金

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

サカイオーベックス株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 垂井 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサカイオーベックス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サカイオーベックス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。